

# 「中・大規模木造」 完全ガイド

～木造・木質化のススメ

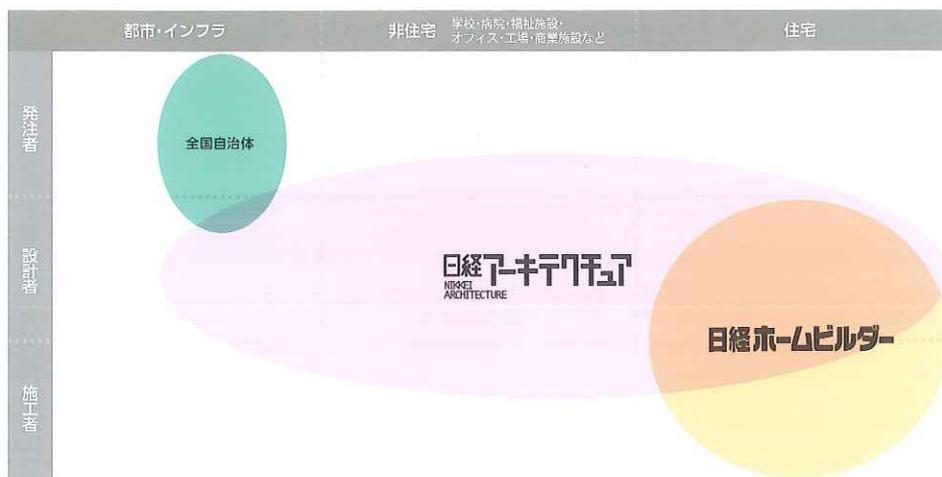
**Ver.1 プロ向け編**

※Ver.2は11月に発行

2010年の「公共建築物木材促進利用法」の施行から約2年。学校や市庁舎といった公共施設を中心に、中高層ビルでの木材利用が進んできました。従来ではコストや技術面でハードルが高かった中高層物件での木造・木質化も、プレカットメーカー、金物メーカーをはじめとした各社の開発技術により、RCや鉄骨とのハイブリッド木造が実現。また耐火基準の見直しや各自治体の補助金なども後押しし、新しい構造・新しい意匠の実現が可能になりました。2013年は、新政権によって木材利用ポイントの導入なども検討され、この動きがさらに加速すると思われる。

従来から木質空間自体は、利用者にとって心地のよい空間として求められてきました。ただ、建築設計者が手掛けようと思っても、様々な規制や技術的なハードルによって設計できなかったのが事実です。本特別編集版では、木質空間の魅力に改めて迫るとともに、建築設計者が中高層物件で木造・木質化を実現するための「使える情報」をお届けします。日本の木造建築・木質建築の裾野を広げるバイブル本となれば幸いです。ぜひ貴社の製品・技術・サービスを、本特別編集版を通してお伝えいただけますよう、お願い致します。

現在大規模～中規模物件を手がけながらも、木造に取り組んだ経験がない設計者を啓発するために、日経アーキテクチュア読者へ。また木造住宅に取り組んでいる設計者に対しては、中規模木造へのチャレンジを促すために日経アーキテクチュア・日経ホームビルダーの両誌読者をターゲットとしてお届けします。



■発行部数:約**57,000**部

**1 日経アーキテクチュア 7/25号**

読者全数へ同梱  
**35,051**部  
(設計事務所、ゼネコン等)

**2 日経ホームビルダー 8月号**

読者全数へ同梱  
**20,077**部  
(工務店、住宅会社等)

**3 全国の自治体首長への別送**

約**1,800**部  
(自治体の発注者)

「プロジェクト エコー・シティ」とは

「エコーシティ(ECHO CITY=Eco Conscious and Human Oriented City)」とは、「環境と人が響き合う街」という意味の造語です。街を「土地・不動産」「エネルギー」「ICT(情報技術)・制御」「建築」「コミュニティ」「インフラ」など各ステージの積み重ねとして捉え直し、ステージを貫く「つながり」を訴求することによって姿を現す街が「エコー・シティ」です。そして、環境に最大限配慮しながら、そこで生活する人々や働く人々に幸せをもたらす新しい街づくりを目指すアクションが「プロジェクト エコー・シティ」です。日経BP社の建設系メディアは共同で、このアクションを描進しています。



## 編集予定

※内容は予告なく変更になる場合がございます。

## 「中・大規模木造」完全ガイド ～木造・木質化のススメ Ver.1プロ向け編

中規模～大規模クラスの、混構造を含む木造建築に取り組むためのステップを、わかりやすく解説します。単純な「木材活用促進」の視点だけでなく、木を使うことによるメリッ

トや課題を検証しながら、木造建築・木質建築の裾野を広げることを目指してコンテンツを編集します。

### ●初級ガイド

#### 「中規模木造に取り組む第一歩」

～大橋好光氏(東京都市大学工学部建築学科教授、木造建築技術先端事業評価委員長)、坂本功氏(NPO木の建築フォーラム理事長)らと考える、中規模木造に取り組むにあたっての考え方やベースとなる技術情報を解説します。

### ●コストとデザイン—建築家対談

「RC・S造並み工費」の要請に応じながら価値を高めるノウハウを、実績例を多く持つ建築家のお二方に伝授していただきます。

**松永 安光氏** × **工藤 和美氏**  
(建築家) (建築家)

オガールプラザ(岩手)2012年完成:  
中段面集成材を用いた公民連携プロジェクト

山鹿・川辺統合小学校(熊本)進行中:  
一般流通材も用いてコストをコントロール

### ●構造設計—大手設計事務所・担当者に聞く

中・大規模木造を設計する際に要となる構造計算のポイントや接合補強金物の使い方・選び方などをわかりやすく指南します。

### ●維持管理—大手事務所・担当者に聞く

耐久性・耐候性を踏まえた設計ポイントを、「公共木造」の経験から解説します。

#### 松田平田設計

四万十町本庁舎(2014)、新潟市食育花育センター(2011)、玉幡地区拠点公園整備事業(Kai・遊・パーク)(2006)、埼玉県立武道館(2003)

#### 石本建築事務所

飯能市新図書館(2013)、大館市樹海体育館(2007)、氷見ふれあいスポーツセンター(1999)

### ●地域振興

地場企業・NPO・自治体などの連携による地域おこし型プロジェクトの最新動向を紹介します。

### ●「木造事例集」

4C1P以上をご出稿いただいた方には、出稿特典として導入事例を1/2p程度でご紹介します。

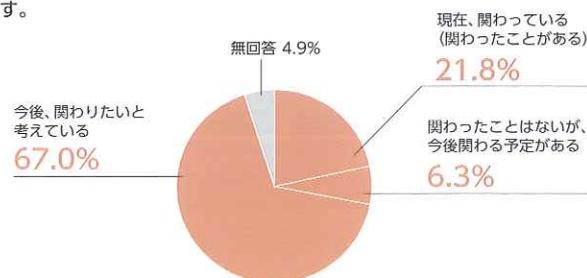
画像一点とテキストデータにて情報をお寄せください。

## 広告対象

- 木材メーカー・商社
- プレカットメーカー
- 接合補強金物
- 木質パネル
- 耐力壁
- 木材保護塗料
- 防蟻剤
- 木構造メーカー
- 構造計算ソフト

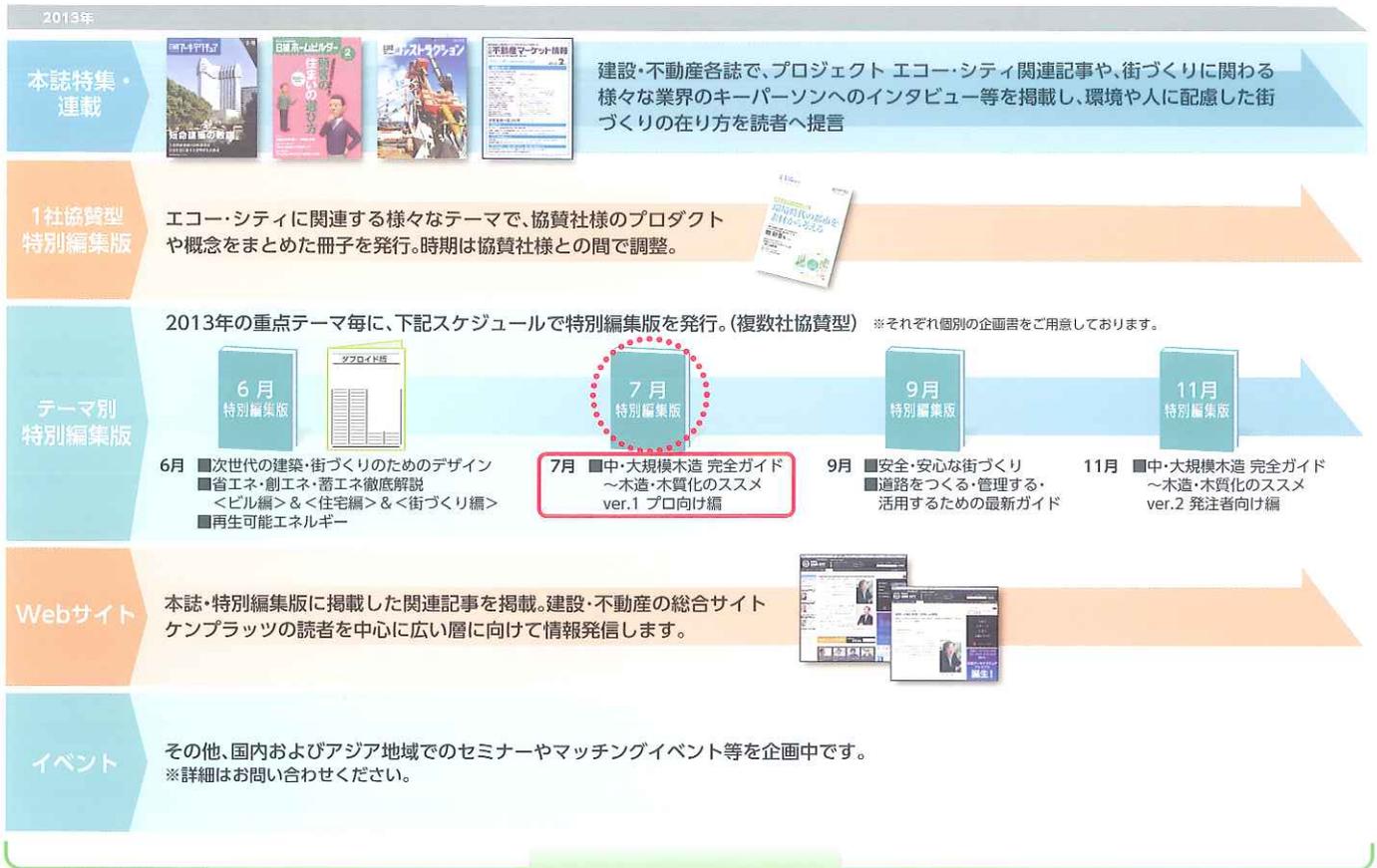
## 読者の多くが、大規模木造への関心を寄せています。

読者の2割は、すでに大規模木造に関わっており、かつそのほかの7割は、今後大規模木造を手がけたいと考えています。



～2012年秋の日経アーキテクチャ読者調査より

## プロジェクト全体スケジュール



1年間の活動の集大成

## プロジェクト エコー・シティ 2013 勉強会・総集編

### リアルにつながるビジネスマッチングを実現

議論するテーマは、協賛社様のリクエストを受けて参加者間で協議の上、決定します。

貴社ビジネスにマッチしたテーマを設定し、官公庁、デベロッパー、設計事務所、建設会社、メーカー、大学など、産学官のキーパーソンとリアルに“つながる”場を提供いたします。

### 幅広いターゲットへの情報発信

産学官のキーパーソンと共に掲載した内容は、日経BP社の建設・不動産各誌をはじめ、経営者層をカバーする日経ビジネスの一部読者、全国自治体首長に宛てて、情報発信します。



## 媒体概要

●発行時期:2013年7月 ●発行部数:57,000部 ●体裁:A4変型、70ページ程度(予定)

## スケジュール

●日経アーキテクチュア	7月25日号	同梱(7月23日売)	■申込締切日	6月17日(月)
●日経ホームビルダー	8月号	同梱(7月18日売)	■タイアップ取材締切日	6月 3日(月)
			■オフラインデータ締切日	7月 4日(木)
			■オンラインデータ締切日	7月 8日(月)

## メニュー&amp;料金(税別)

## A:純広告

表4	1,600,000円	4色2/3ページ たて	900,000円	白黒1/2ページ よこ	500,000円
表2見開き	2,800,000円	4色1/2ページ よこ	700,000円	白黒1/3ページ たて	300,000円
第2表2見開き	2,500,000円	4色1/3ページ たて	450,000円		
4色1ページ	1,200,000円	白黒2/3ページ たて	600,000円		

※消費税別。記事体広告の取材・制作費は、基本料金:30万円/ページ(税別)となります。また、遠方取材の場合は、別途、交通費が必要となります。

## B:タイアップ①

## 木造・木質事例紹介4ページ 特別パッケージ

木造・木質物件の良さを伝えるには、物件の写真をダイナミックに使い、その魅力を存分にみせることが肝要です。そこで本特別編集版では、4ページにわたって写真を中心に物件事例を紹介できる特別タイアップパッケージを設定いたします。貴社製品・技術等の採用事例を紹介する機会としてご活用いただければ幸いです。

4C4P:350万円(税別)

※制作費込み ※遠方取材費は別途頂戴します。

【掲載イメージ】  
※物件事例紹介をメインに  
仕立てる構成となります。



## B:タイアップ②

日経BP社 建設局プロデューサーによる

## 「トップインタビュー」または「製品フォーカスインタビュー」

●タイアップ4色2ページ ●Webサイトへの2次掲載(2013年8月～2014年3月)

料金:280万円(定価:670万円のところ)

※消費税別。記事体広告の取材・制作費は、上記料金に含まれます。また、遠方取材の場合は、別途、交通費が必要となります。

## 「プロジェクト エコ・シティ」勉強会(2013年12月)への参加

参加特典

本プロジェクトに賛同いただいた企業、官公庁・自治体、各業界のキーパーソンを招いての勉強会・懇親会を開催。第一線で活躍している方々と密度の濃い「つながり」の場をご提供します。



お問い合わせ

日経BP社 建設局広告部 TEL. 03-6811-8034 E-mail: k-ad@nikkeibp.co.jp